



床子屋
極楽將軍
鬼頭えん/HEIZO

苗

NAEDOKO
SEIJYO

床

ナエドコセイジョウ

聖

~転生聖女は幸せの異世界で~

女



苗 **NAEDOKO** **SEIJO** 床

ナエドコセイジョ

聖 転生聖女は幸也の異世界で 女

苗 床
NAEDOKO SEIJO
ナエドコセイジョ
聖 女
學生時代の異世界転生



幼い頃の
わたしは

おとぎの世界の
お姫さまに
憧れていた

ふわふわの
ドレスとリボン

花の匂いに
満ちたお城

日々は
ちよつとだけ
退屈だけど
穏やかで

大切な
やさしい
ひとたちに
囲まれて

ずっとずっと
いつまでも

幸せに
暮らすの……

介護老人保健施設
猫屋荘

こんにちは
灰田です

あの……
祖母の遺品を
引き取りに
来たんですが……

はいはい
少々お待ち
くださいね

本当に
ねえ

お祖母さま
ずっと
お孫さんに
会いたがって
らしたのよ

……は

……長い間
お世話に
なりました……

かさ……

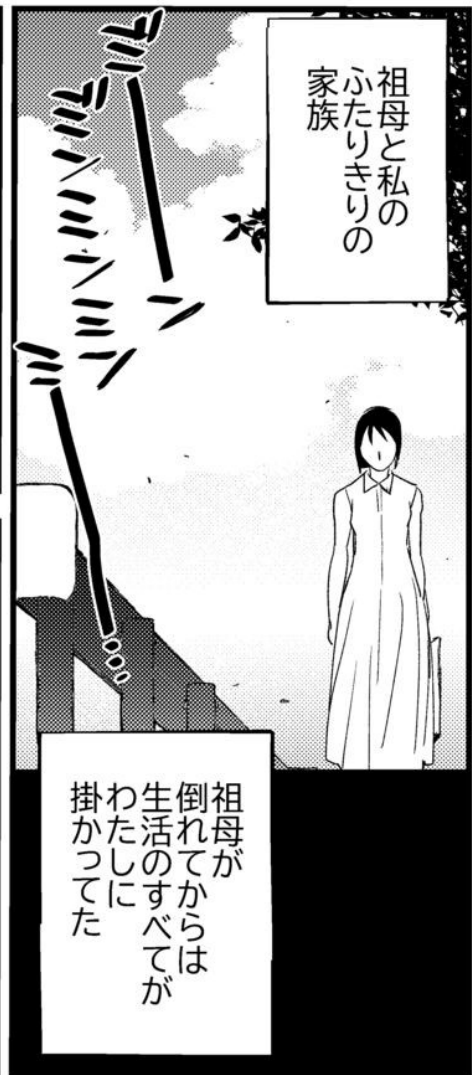


お仕事がお忙しいのはわかりませうけどね

もっとお祖母さまに会いにいらしても良かったんじゃないですか？



だから毎日死に物狂いで働いた



祖母と私のふたりきりの家族

祖母が倒れてからは生活のすべてがわたしに掛かってた



そのせいで祖母に寂しい思いをさせていた事は分かってたけど…

じゃあどうすればよかったって言うのよ……



勘弁してよ
もう……



お……!!



こんな思いを
するために

必死に
頑張つて
きたんじや
ないの……



シェイリイの
物語
おはよう
ほいほい

これ……!



とっくに
捨てたと
思ってたのに……

おばあちゃんが
捨てずに
取っておいて
くれたのね



『シェイリイの
物語』!

子供の頃に
わたしが描いた
絵本だわ!



懐かしいわ
シエイリイ…

あの頃
あなたは
もうひとり
わたしだったの



これは
アムネジウス国
という
おとぎの国の物語

主人公の女の子が
毎日楽しく
穏やかに過ごす
幸せで
優しいお話…



この物語を
作っている頃は
幸せだった

わたしが考えた
空想の世界を
おばあちゃんも
楽しそうに
聞いてくれて

ツ……

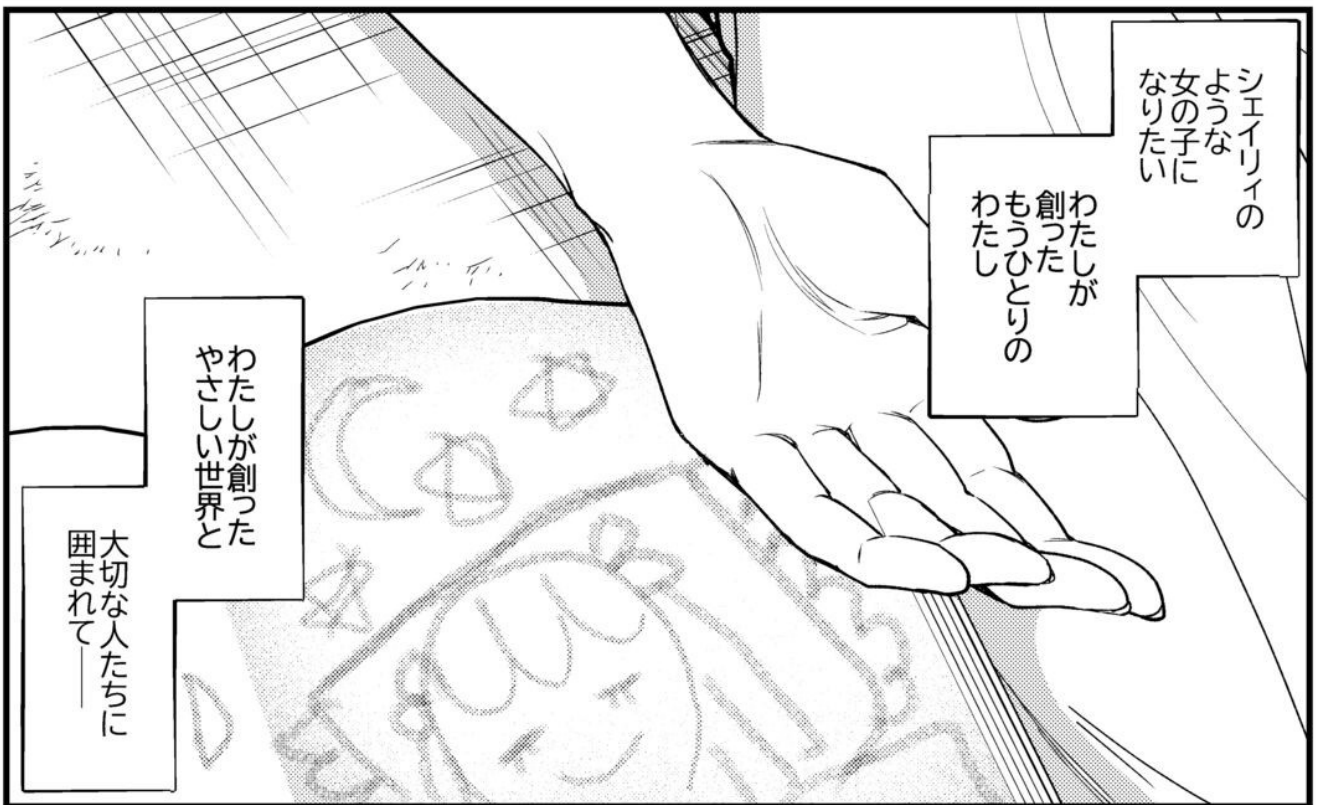
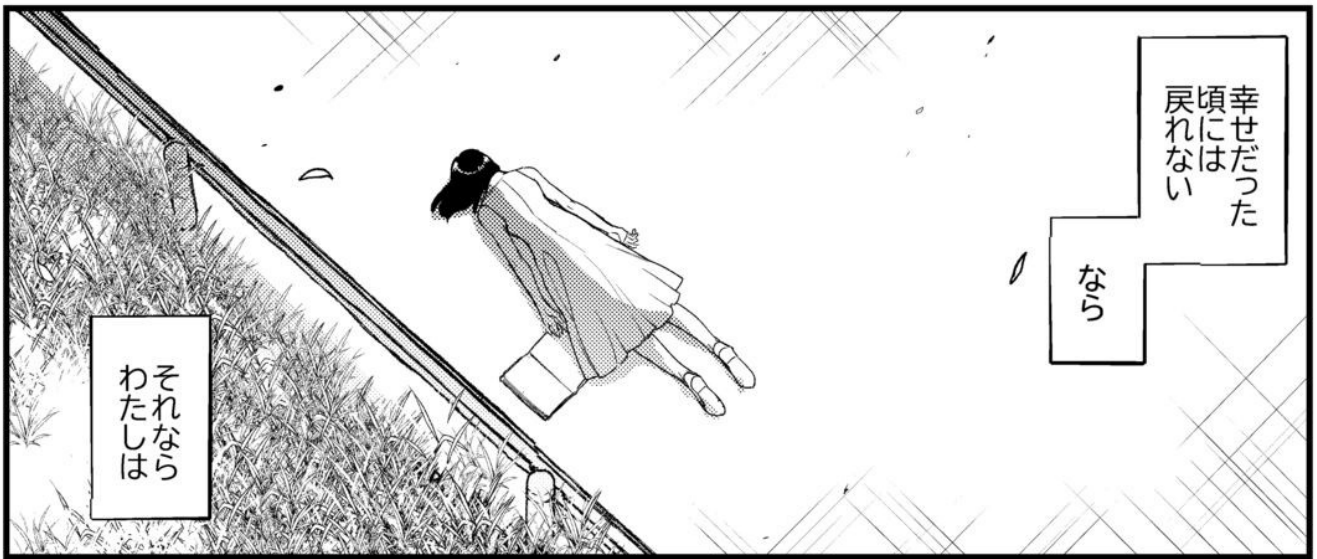


こっちは
アムネジウス国の
王子さまね



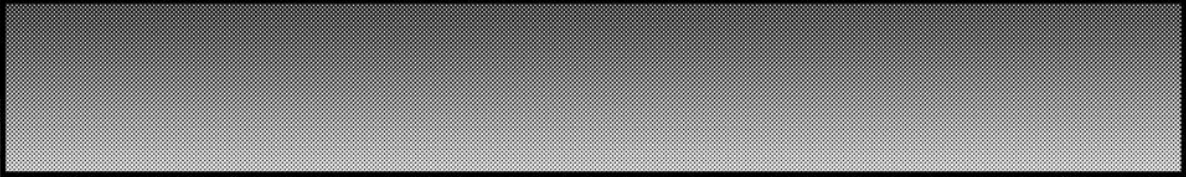
覚えてるわ
スチュワート

あなたは今でも
わたしの理想の
王子さまだわ



いっしょに
いっしょに
いっしょに

幸せに
暮らすの



.....

.....

——見て
ください！

——
様が.....





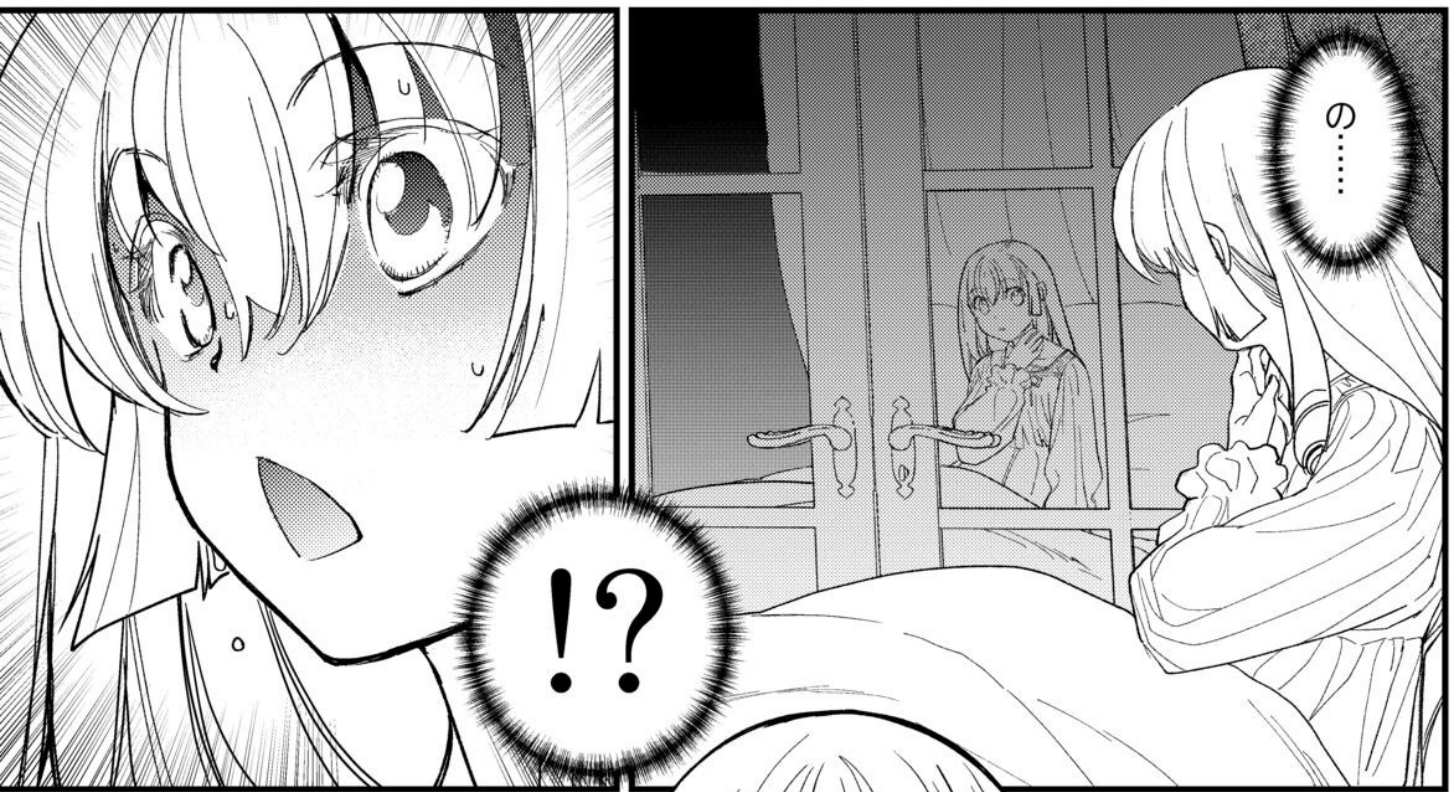
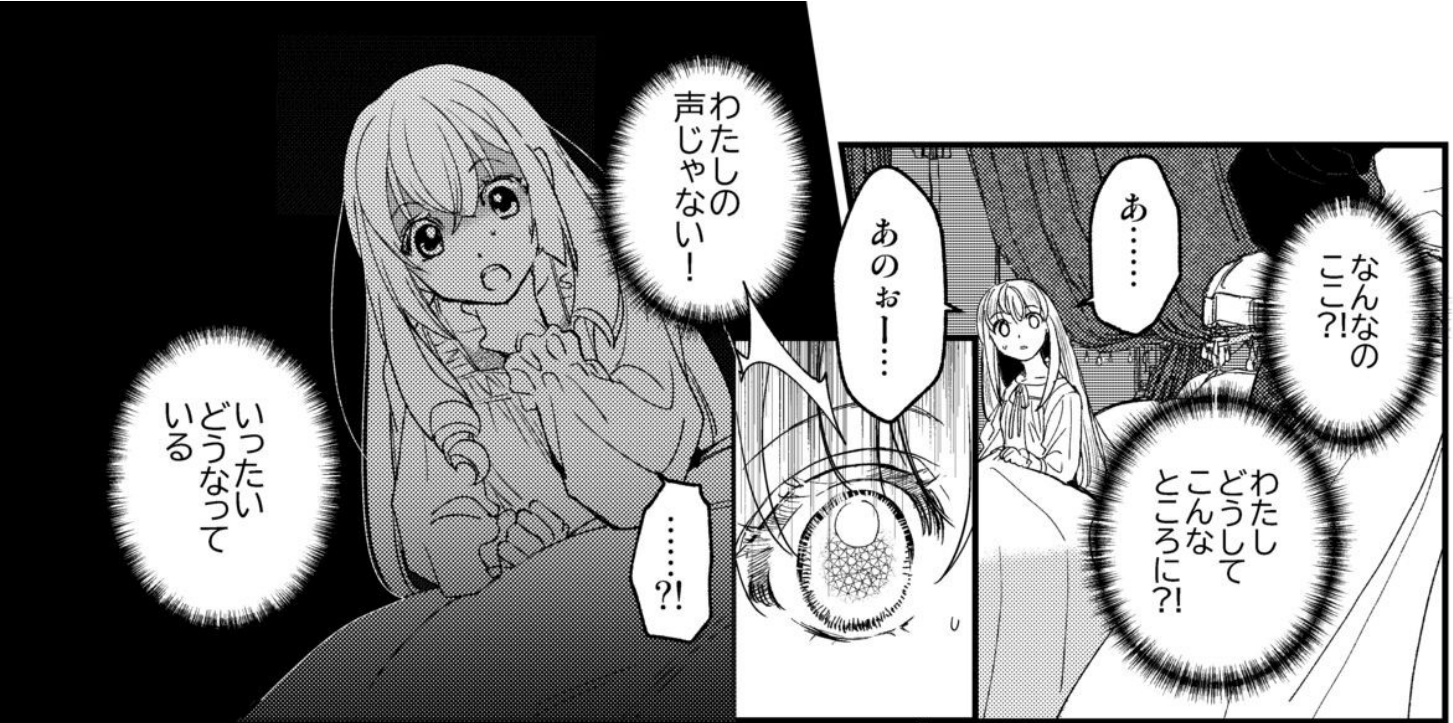
聖女さまが
お目ざめに
なられました！



スチュワート様を
お呼びしろ！

はいッ！

はいッ！



神よ
感謝します！

は？！

愛しい聖女を
この
スチュワートの
元
お返しになって
くださった！

は？！

スチュワートって
まさか――

ア…



…私のことが
わかるのですね…

これは
夢なんだ！



アムネジウスの
スチュワート…

あ…

—ああ
そっか…



再び貴女を
この胸に
抱けるのですね
シェイリィ—

なつかしい
絵本と再会
したせい!?
子供の頃に
創った
『理想の王子様』に
会えるなんて!



本当に
良かった



もう少し開いて...

わたしの事をシエイリイって呼んだの……?

いさむ...

え?!

んう...

う...

ん...!

しゅま
ま
ま
ま

え

はふ...

え

ん...

は...

は...

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は



…さうさ…

懐かしい絵本と
再会した
からって—

あ

す



いやらしい
夢を…

うあ…

あ…

みる…
なんて…



いん…な

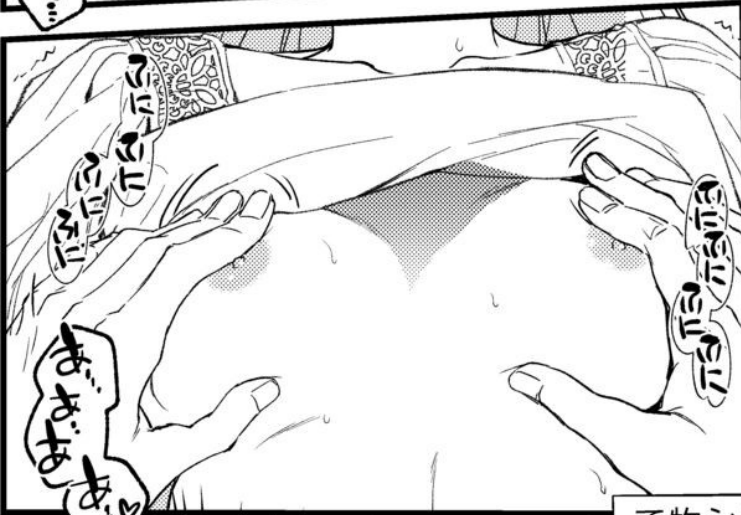
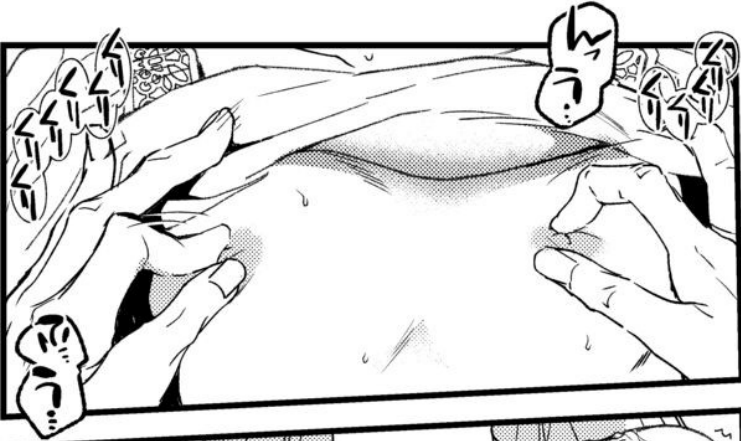
ツ…!



それ...

う...

あ...う



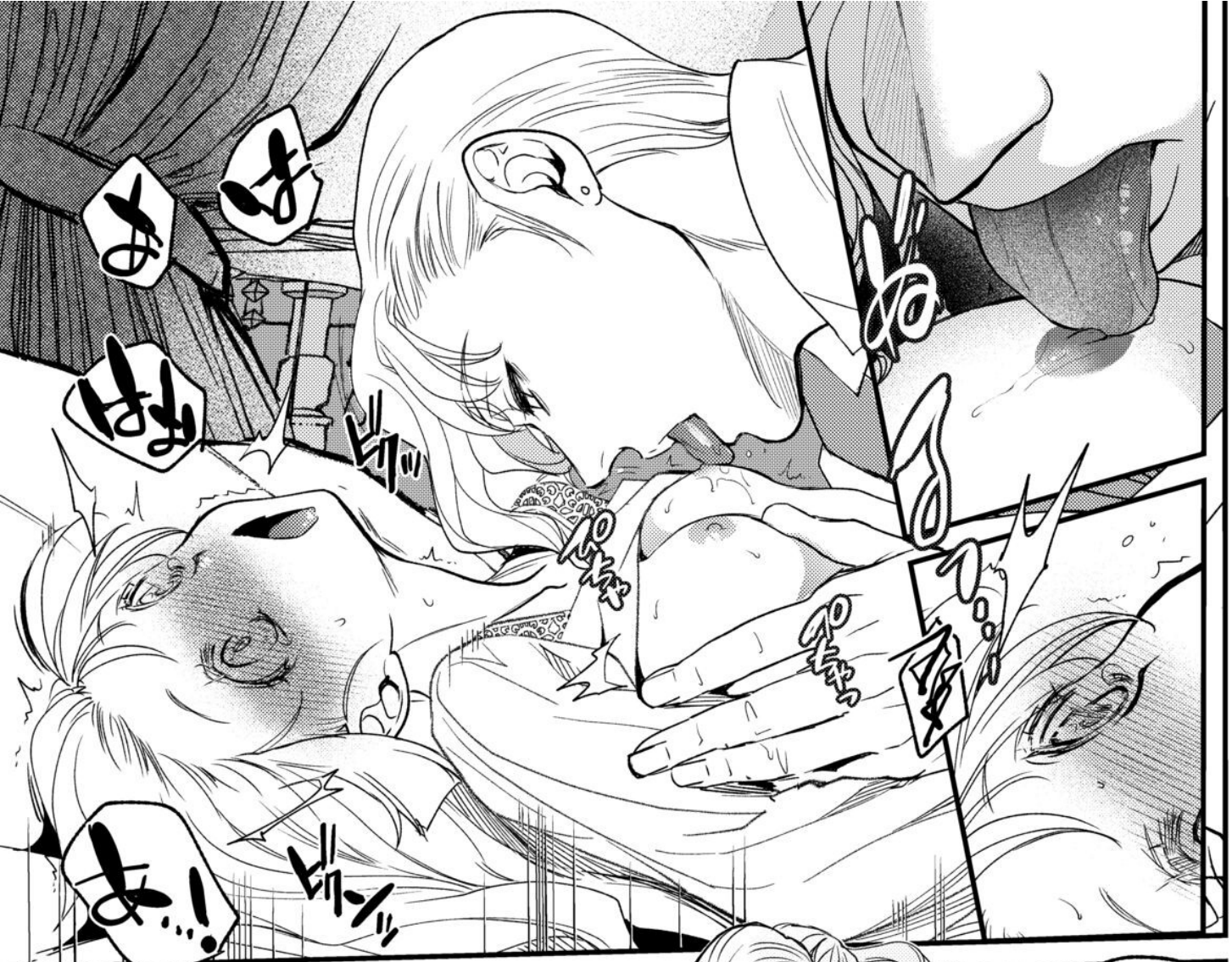
いくら
シエイリイが
物語の中の女の子
でも



他人の身体で
こんなこと...

ま...
待って...

スチュ...



申し訳
ありません
シエイリイ様

10年もの
眠りから
目覚めたばかり
だというのに

ですが
聖女の能力が
失われていないか
確かめなくては…

ダメッ！

や……

やめ……て
スチユ……

おや？
どうして
です？

貴女の身体は
私の指の動きを
楽しんでおられる
ようですが

ほら
こんなに
悦びに
潤わせて……

こんな……
ツ……いやらしい

『理想の王子様』に
「こんな」と
させるなんて……

?!?

んんんん

んんんん

んんんん

んんんん



ごめんなさい
シエイリイ...

わたし...

あなたの
ふりをして

変わらず
悦びに素直な
身体のままだ...

スチユワート
と...

こんな...♡

気持ち
悦かったですか
シエイリイ...?

だけど

も...♡

気持ち悦く
なりたい
でしょう？

あ...♡

あ...♡

う……ぞ?!

シエイリイ様は
後ろで
愛される事も
お嫌いでは
ないようですが…

あ…
聖女としての
お役目を
鑑みれば

やはりこちらから
迎え入れる事が
相応しいかも
しれませんね?

ズンズン

ズンズン

七之
七之



え…

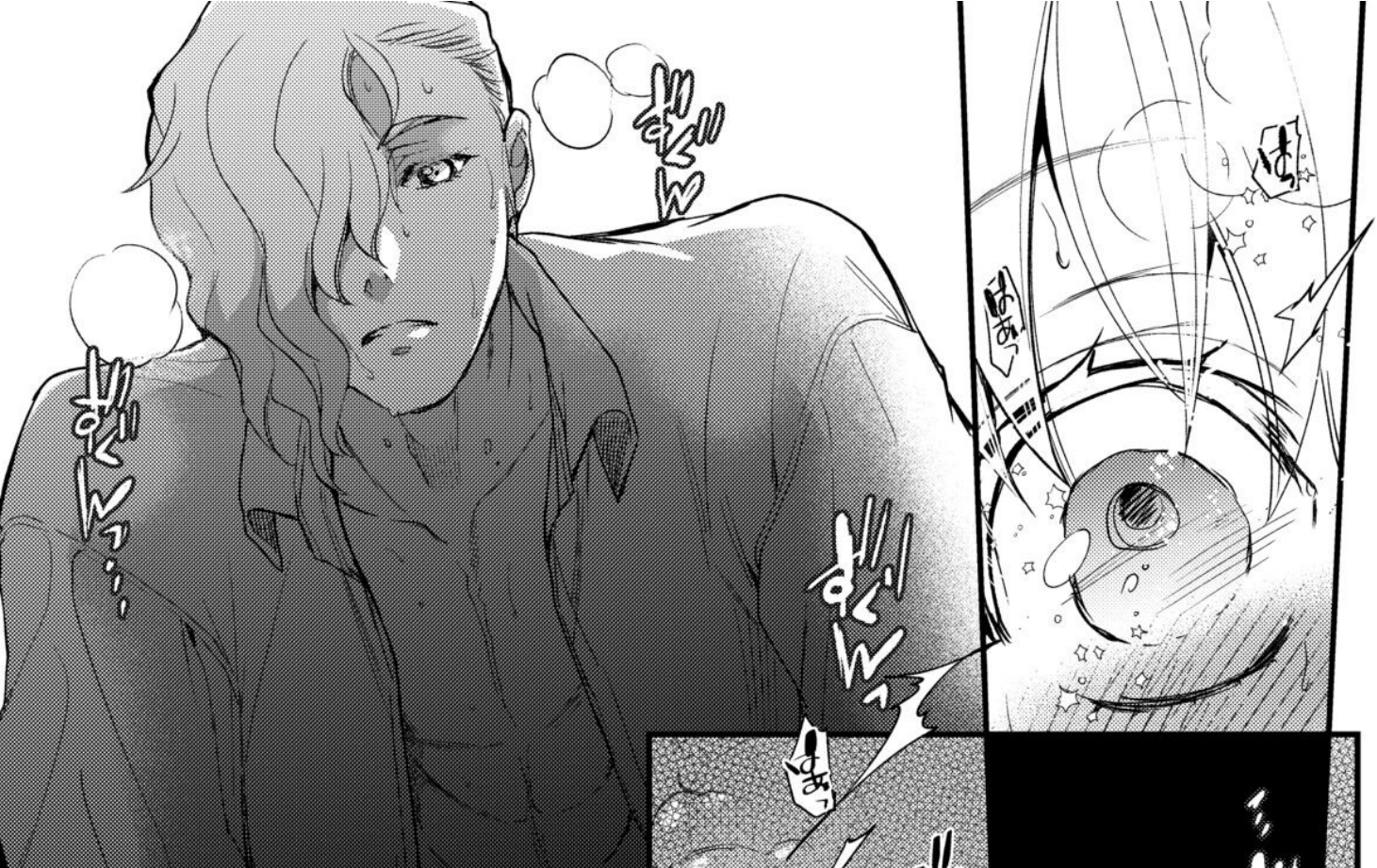
痛…

あ…れ？

い…？

はっ…





おっ
おっ
おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ
おっ

自分の
身体の
なかに

おっ
おっ
おっ
おっ



は

おっ
おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ
おっ

他人の
身体…

がつ
……



……
る

入って…



ド
ン
ッ

ド
ン
ッ

ド
ン
ッ

ツク……
キツ……♡

ド
ン
ッ

ド
ン
ッ

ド
ン
ッ

ド
ン
ッ

ド
ン
ッ

ド
ン
ッ

こ…れツ

本当に
夢なのツ?!

この
痛みがツ…

相
変わ
わら
ず

貴女は
痛み
に弱
いよ
うで
すね…

です
がそ
れも
いつ
もの
事…

すぐ
に痛
みを
忘れ
る悦
びに
導い
てさ
しあ
げま
すよ…!!

ああ…
悦い声に
なってきた

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

10年ぶりで
あつても
私からの
愛され方を
覚えていらっしや
るんですね

あ…
愛つて…

わたしは…

あー

あー

こんなに
痛ツ…

あー

あー

あー



ふいふい...

濡れた音...

音...

わたしの
からだ……

こんな
に……

セックス
で……

……セン……

違うッ！

これは
わたしの身体
じゃなくて

わたしは……

シエリリヤ
な……





シエイリイ?
悦いですか
シエイリイ?

シエイリイ

シエイリイ

シエイリイ...

シエイリイ?

シエイリイ

シエイリイ

シエイリイ

シエイリイ

シエイリイ

シエイリイ

シエイリイ

シエイリイ

わたしが
創った…

理想の
世界…

なの…

こんな…

汚し
ちゃっ…♡



夢から覚めたら
またいつもの
毎日が始まる

昨日やつと
休めた分
仕事溜まって
るだろうから

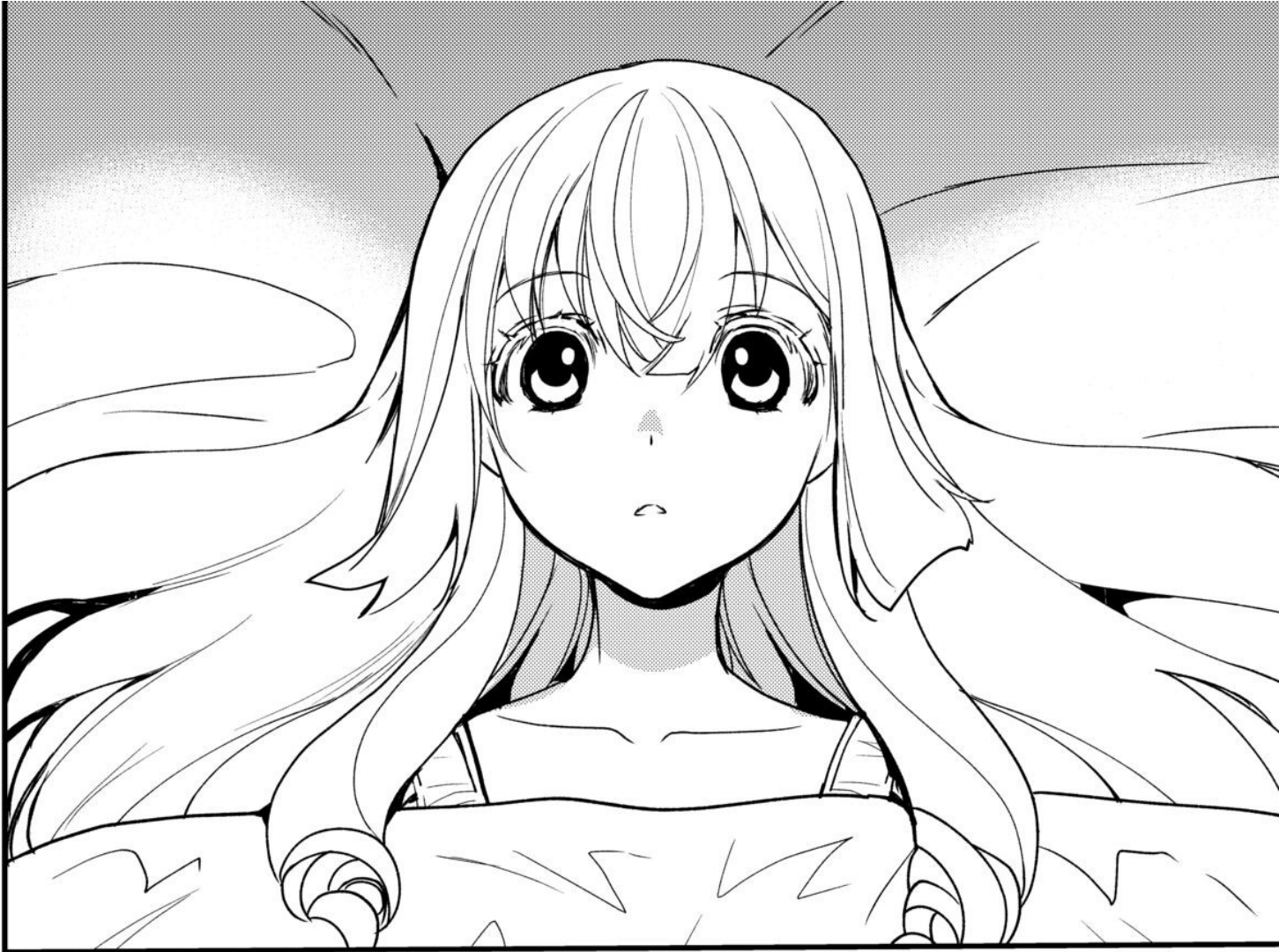
今日は
いつも以上に
忙しくなりそう…

…ああ
やめよう
嫌な事を
考えるのは

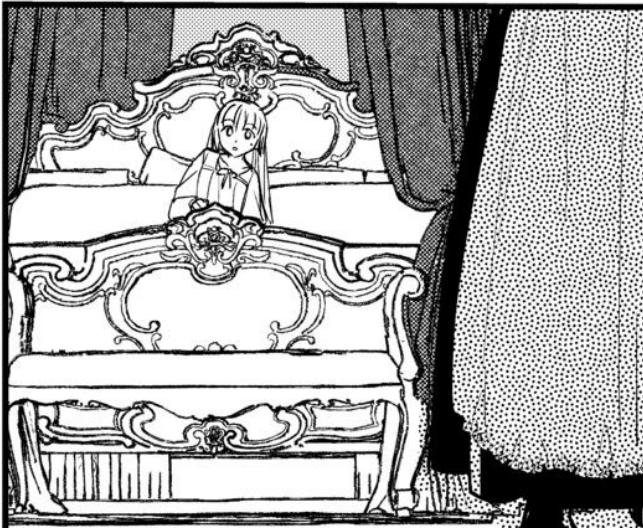
朝から気分が
暗くなるだけよ

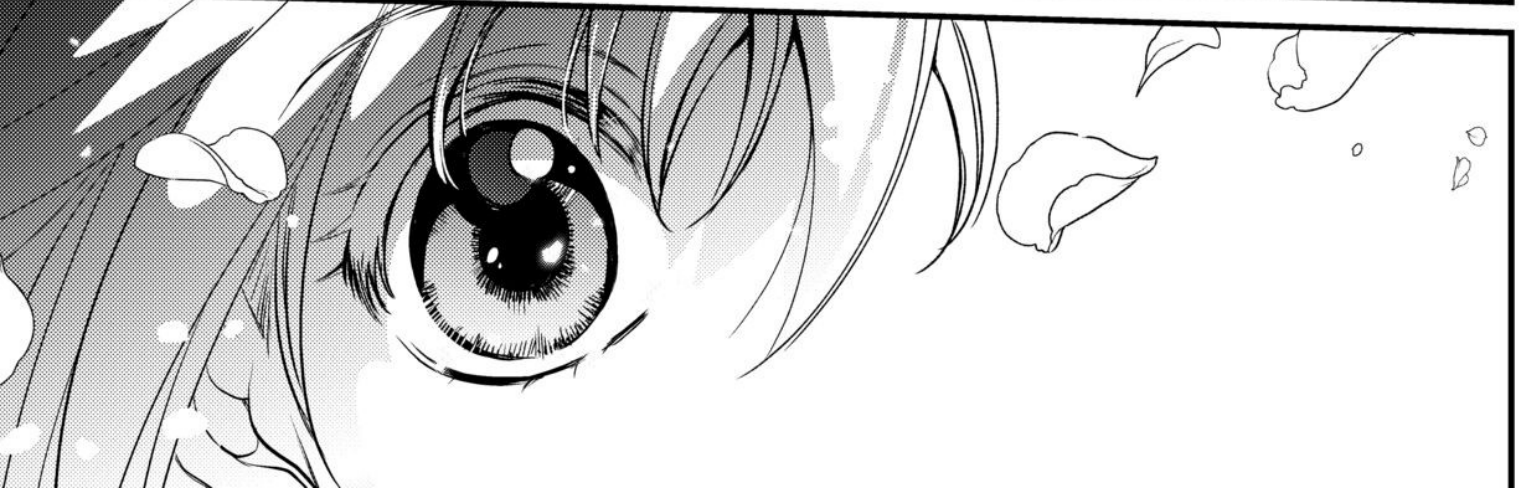
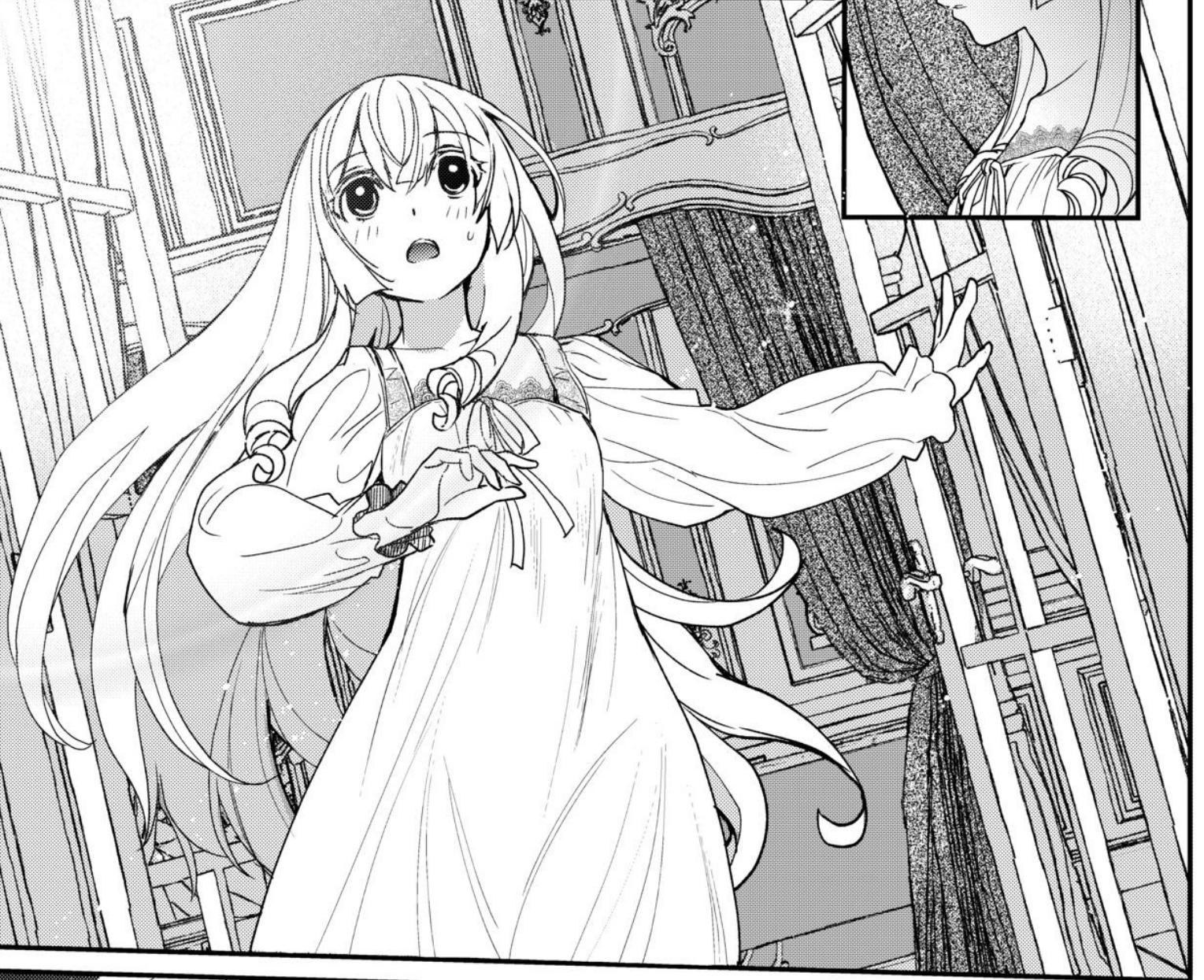
早くベッドから
出なくちゃ

さあ
起きなさい
灰田麻美



おはよう
ございます
シエイリイ様







シェイリイの
部屋からは
噴水のある
広い
お庭が見えて

夢が
続
いてる…?!

シェイリイ様

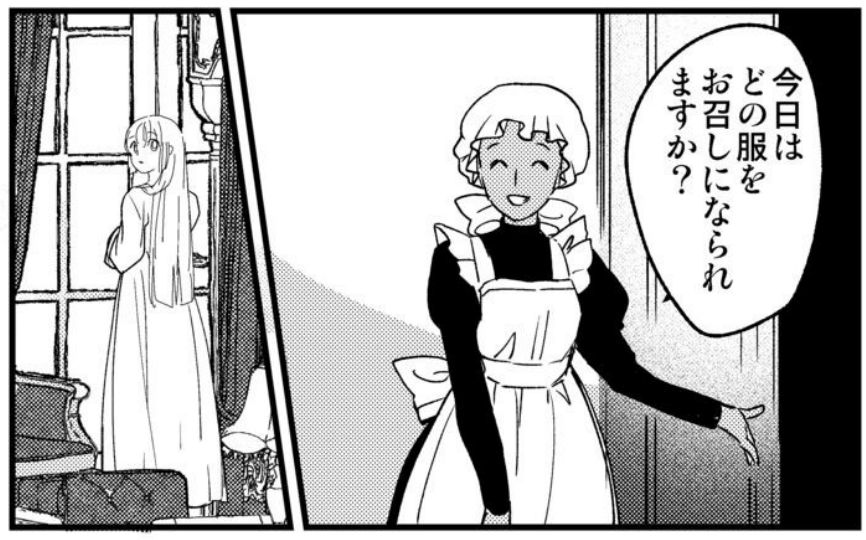
一年中咲く
虹色のバラが
見えるのよ





まあ
シェイリー様よ

聖女様だわ!



今日は
どの服を
お召しになられ
ますか?



本当に
お目ざめに
なられたのね!

ふわふわの
リボンと服
花の匂いに
満ちた部屋...

想像してた
お姫様の生活
なんだけど



わたしは本当の
シェイリーじゃ
ない!

あ...
あ...!

お話は
スチュワート様に
伺ってますわ



ああ
シェイリー

この屋敷で
シェイリー様が
快適に
お過ごしに
なっております
なので

分らない事が
あれば
なんでも私共に
お尋ねください

シェイリー様は
ひどく
混乱なさって
記憶があいまいで
いらつしやると



私たち使用人の
一番の喜びは

あなたは
やっぱり

みんなに
大切にされて
いたんだね

本当にここは
理想の夢の世界
なんだわ

わたしとは
大違い……

おはよう
ございます
シェイリー様

ス……
スチュワート
さま……

昨日のこと
忘れてた

どうか
昔のように
スチュワートと

どんな顔して
話せば
いいの……

……やはり
戸惑って
いらつしやる
ようですね

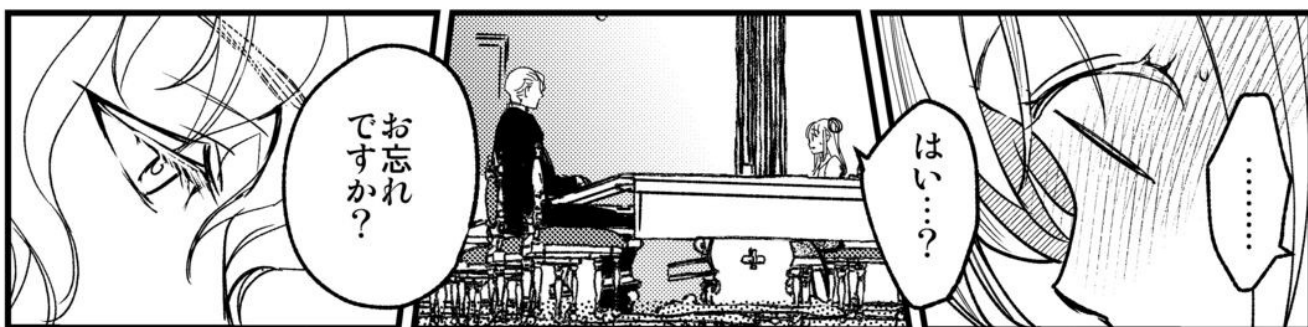
……



昨晩は
年甲斐もなく
大変お見苦しい
姿をお見せして
しまい
誠に申し訳なく…

無理からぬ
事です

眠りから
目覚めてみれば
10年もの年月が
経っていたの
ですから…



お忘れ
ですか？

はい…？



貴女は
邪悪な魔法使いに
呪いをかけられて

10年間
その魂を異界に
閉じ込められて
いたのですよ

…は？

…ま…

…魔法
使い…？

10年前



悪しき魔法使い
ウオレスが
聖女に呪いを
かけたのです



我が
アムネジウス家は
毎日が穏やかで
安寧に包まれた
ものでした

それもすべて
一族の守護者
芽吹きの聖女の
恵みがあれば
こそ…

ですが
ある日…



魂を奪われた
聖女は
深い眠りに
おちた



それから
ずっと
私は…

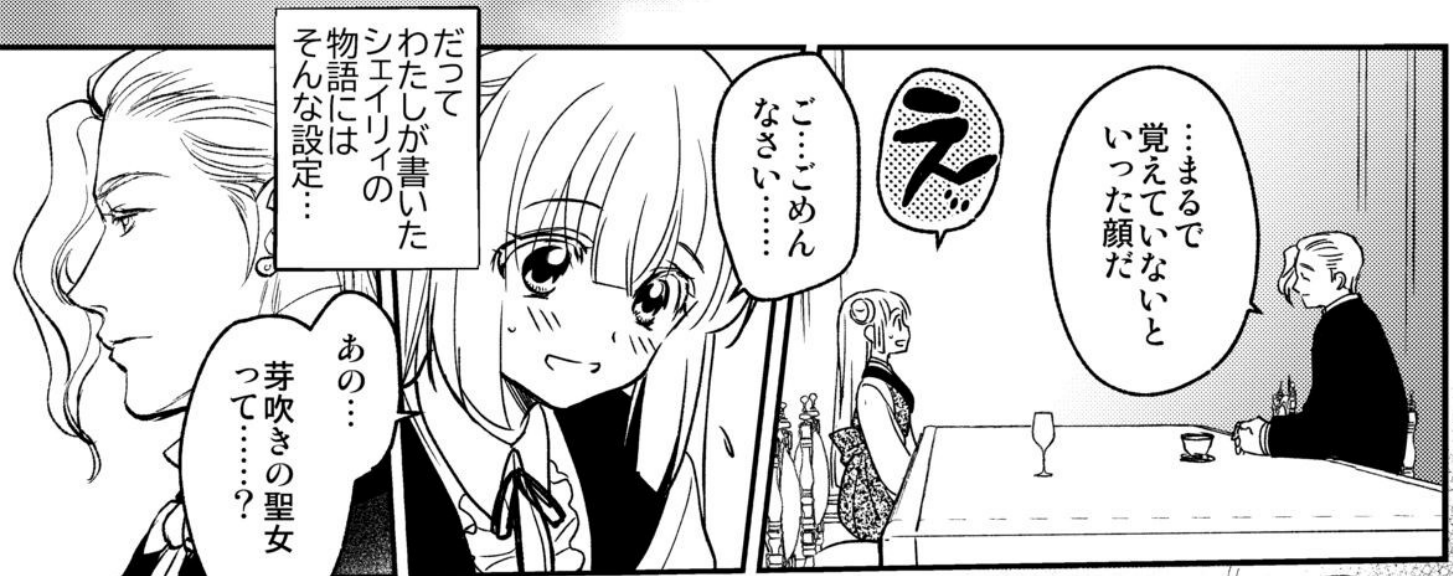
私たちは

貴女の
目覚めを
待っていた



なに
その話…

芽吹きの聖女
シェイリーの
目覚めをね…



…まるで
覚えていないと
いった顔だ

え

ごめん
なごめん

だって
わたしが書いた
シエイルイの
物語には
そんな設定…

あの…
芽吹きの聖女
って…?!



貴女が
生まれた
芽吹きの村…

その一族の
女性たちを
敬愛を込めてそう
呼ぶのですよ

神に祝福され
周囲の者に
恵みをもたらす
聖女…

彼女たちの
愛なくして
私たちは
生きられません

なんだか…

まるきり
おとぎ話の
ようだけど…

ごめん
なごめん

わたしが
その
聖女…?

貴女が目覚めた
事で
屋敷中が喜びに
溢れています

皆が大切な
貴女の
帰りを待って
いたのです

そ……

そんな風に
言われると……

あ……

ありがとうございます……
……

わたしの事じゃ
ないのに……

その中
でも

最も聖女の
目覚めを待って
いたのは誰か……

貴女には
おわかり
ですよ？

ッ……

これ以上
優しくされたら
勘違いしちゃう！

スチュワート
わたし
本当は……

お母さん

あッ……

あーもう
何やってるのよ
灰田さん！



どうせまた
ほんやり
してたんで
しょ

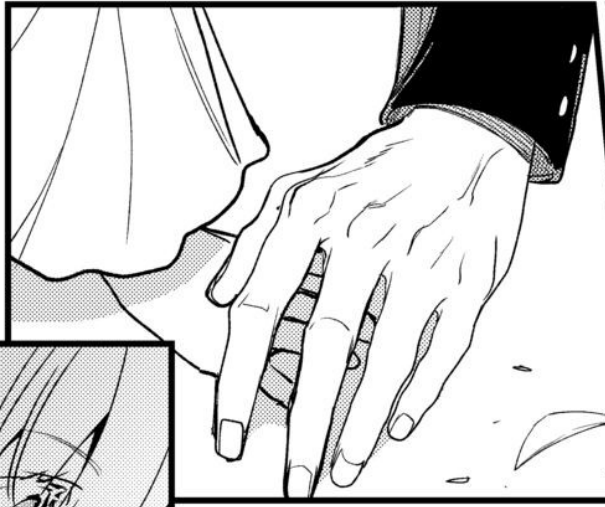
なにそれ？
もしかして
わたしが
疲れてます
アピール？

ほんつと
灰田さんって
トロいよねー

あたしらが
頼んだ仕事も
まだ終わらせて
ないしさあ

あ…

あ……



すみません
ごめん
なさいっ！

すぐに
片付けま……



すぐ片づけに
飲み代わり
物をして

はっ



あたしたちも
嬉しいん
ですよ!

みんな
ずっと聖女様
にお会いしたかっ
たんです!

どうかお気に
なさらなくて
下さいまし



あ...
あのっ

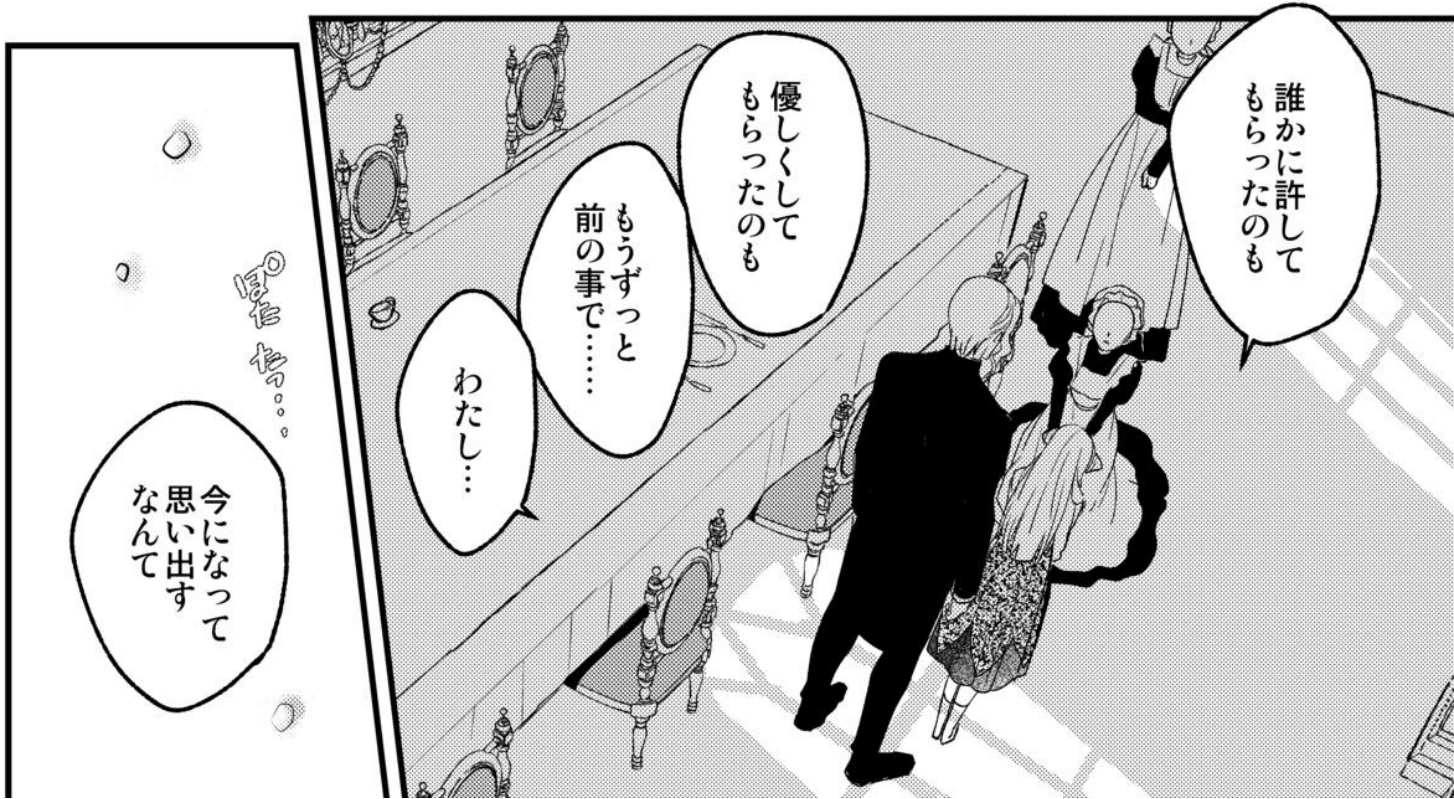
本当に
ごめん
なさい...



おぼあ様
最後まで
あなたに
会いたがっ
てらしたのよ

もつと
お見舞いに
いらしても
良かったんじや
ないですか?

.....わたし.....



誰かに許して
もらったのも

優しくして
もらったのも

もうずっと
前の事で.....

わたし.....

今になって
思い出す
なんて

思い出...



ごめん…

ごめんなさい…

ごめんなさい
お祖母ちゃん…!



こんなにも
大切なことを

わたしは
なんて
馬鹿なん
だろう!

仕事なんか
放り出して
お祖母ちゃんに
会いに
行きたかった!

お祖母ちゃんから
大切にされたくらい
わたしも
お祖母ちゃんを
大切に思っ
たのに!

それ
なのに…

わたし…!

おばあ
ちゃん…!

ずっとずっと
忘れてた!



だけど
安心して



とても辛く
悲しい世界
だったのでね



貴女が
閉じ込め
られていた
場所は



貴女は自分の
居場所に

貴女が
居るべき場所へ
帰ってきたの
ですから



ここに
限りに
いる

ああ

ああ
そうだわ



ス……

もう誰も
貴女を
傷ついたり
は
しない……

ん？

『アムネジウスの
スチュワート
王子』は…

かつてのわたしが
創りだした
『理想の王子様』…

もう…

これが
作り物の
世界でも
いい

神さま

どうか
お願い
します

この優しい夢が
ずっとずっと
覚めません
ように





いつもの唇で
悦びを与え合っ
ていたでしょう？

では
貴女が私を
楽しませて
ください



いつも…？

は…



唇
で…
フエラ…
チオ…って
いうのよね？

は…
い…



これを
口…で…

…

ガッ
ン

ツ…



こ...
これ
いい?

ん...

ちゃん
スチユワート
気持ちよく
できてる...?

シエイリイ

どうし
たんです?

やりかた...

やり方を
忘れましたか?

こ...?



あ...あ...あ...

あ...あ...あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

上手い
上手い

やれば
出来るじや
ないですか

い...
息が...

できな...
い.....!!

そう

唇をすぼめて
口全体で強く
吸い付くんです



まぶたに
かお
その表情だ

—懐かしい
ですね

思い出の中の
貴女は

いつも
男のペニス
を
啜えさせられ
ていた...

さあ
もっと...

もっと!

私に見せて
下さいッ...

淫乱聖女
シェイリーの
顔をッ...!!

おま...
おま...
おま...

おま...
おま...
おま...
おま...
おま...

おま...
おま...
おま...



お…お…

なんて
言ったの…？

ア…ア…



スチュワート

いま…



お…お…

お…お…

…

淫…



しかし
これほど男を
楽しませる
身体も
そうそう
ありませんよ

破瓜の
締め付けと
初々しさを
何度も楽しめる
一方で

肉の悦びを
充分に教え
込まれた
淫らな穴…

熟練の
高級娼婦が
相手でも
この快感は
得られぬと
いうものだ！

スチユワー
トツ…？

さっきから
何を
言っているの？！

何を
ぼんやり
してるんです？

私から子種を
搾り取るのが
貴女の仕事

もっと
この穴を
動かして





はぁ

はぁ
はぁ
はぁ

そうやって私を愉しませないかね...

おっ...

おっ

おっ

おっ...

おっ

懐かしいでしよう？ 私たちがまだ小さな子供だった頃...

こうして貴女の胸をかわいがるのだ...

ああ：
この乳首から
乳が零れ
落ちるのを
早く見たい

固く張った
乳房を
揉みしだいて

私たちの息子が
飲む乳を

この手で
絞り出すと
想像すると……!





わた……

し……

わたし……

……

なに

してるん
だっけ……

その中から
子供の頃作った
絵本を見つけて

昨日の今頃は
お祖母ちゃん
の遺品を
引き取りに
行って



スチュワート

ああそうよ
スチュワートに
会えたのよ

幼い頃の
わたくしが
考えた



おお シェイリイ！
なんと
下品な音だ！

こんなに
意地汚く
涎を
垂らして…



大好きな
肉の剣の味と
楽しみ方を…

思い出
しましたか？！

ようやく…



ずっと
ずっと!

貴女を再び
抱ける事を
神に祈り
続けてました!

ああ
シエイリイ!

シエイリイ!

おっ!
おっ!
おっ!

ああ
ああ

おっ
おっ

ああ
ああ
ああ

これからも
ずっと!

ずっと!
ずっと!
貴女を抱いて!

何度も!
何度も!

ああ
ああ
ああ

おっ
おっ
おっ

貴女を
孕ませると
誓います!

ああ
ああ
ああ

ああ
ああ
ああ



愛しています！

愛しています
シエイリイ！

我が愛しの
聖女よ！！

わた…ひ

はあ

わたひ…も

あ…

愛……？

はあ



こんなに強く
誰かに
欲しがられたのも



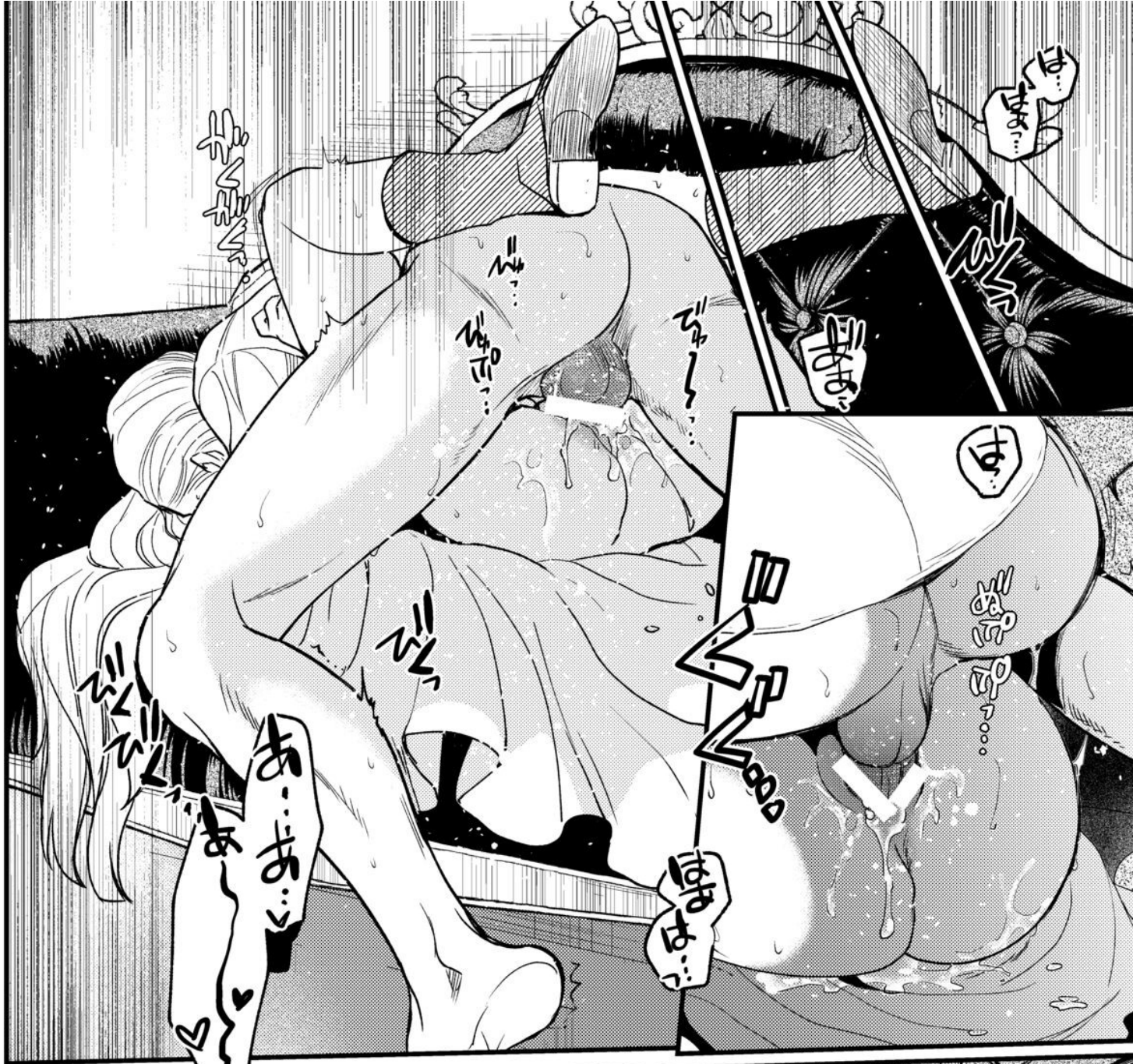
わたし……♡



必要と
されたのも

はじめ……♡♡♡





夢の国
アムネジウス

—子供の頃に
描いた絵本...

あれは
想像でも

はあ

はあ

作り物でも
なかったんだ…

はあ

愛しています
シェイリイ

シェイリイ…

はあ

はあ

幼い頃の
わたしは

おとぎの
世界の
お姫さまに
憧れていた

はあ

はあ

はあ

ふわふわの
ドレスとリボン

甘い香りで
満ちた部屋

聖女様が
気持ちよく
お過ごしに
なられるよう
私たちも
頑張らなくちゃ!

ああ今でも
信じられない!

日々は
ちよつとだけ
退屈だけで
穏やかで

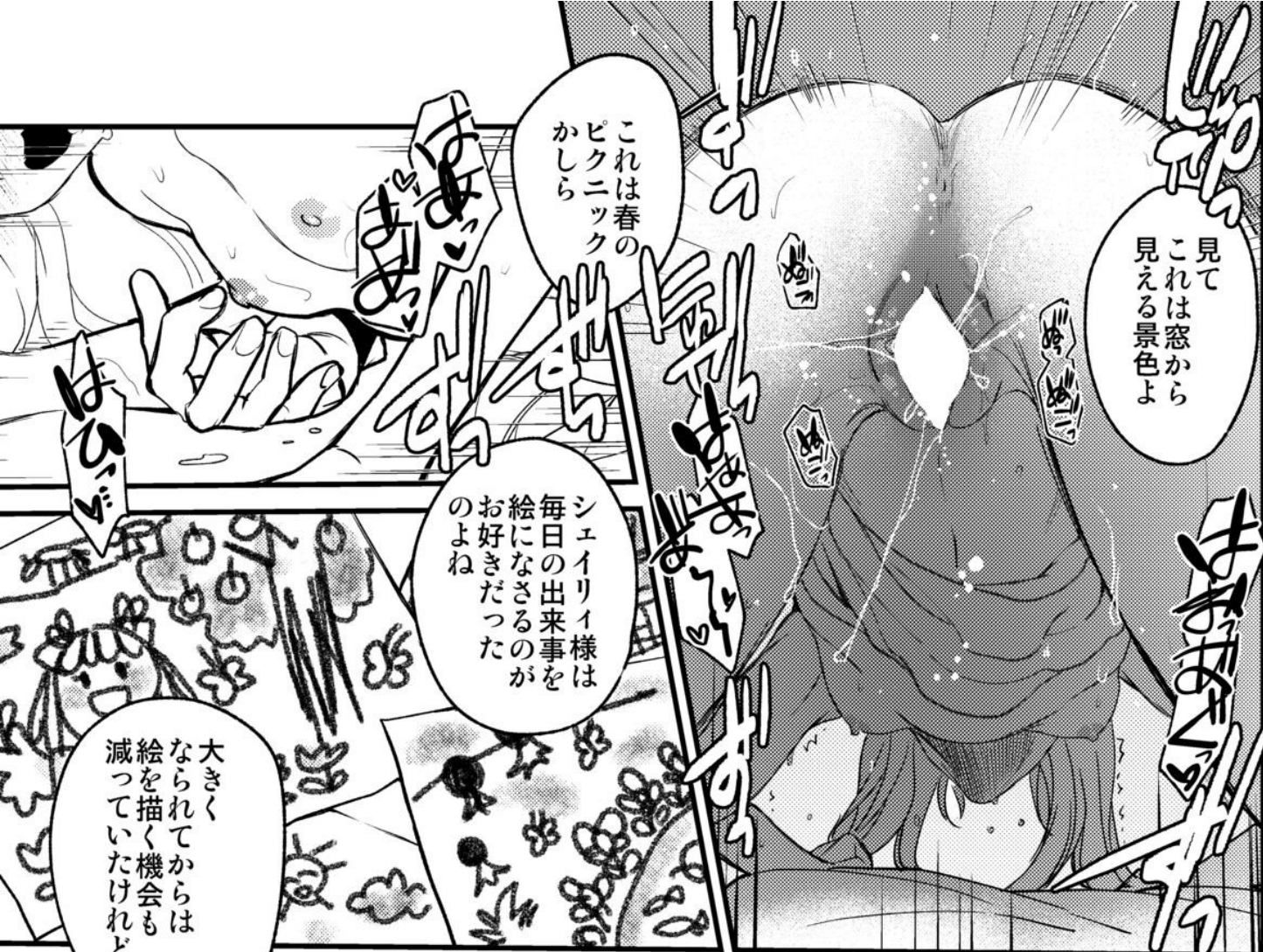
あら何を
見ているの?

シェイリー様が
子供の頃に
描いてらした
絵よ

本当に
シェイリー様が
お目ざめに
なられたのね!

まあ
懐かしい!

大切な
やさしい
ひとたちに
囲まれて……



これは春のピクニックかしら

見てこれは窓から見える景色よ

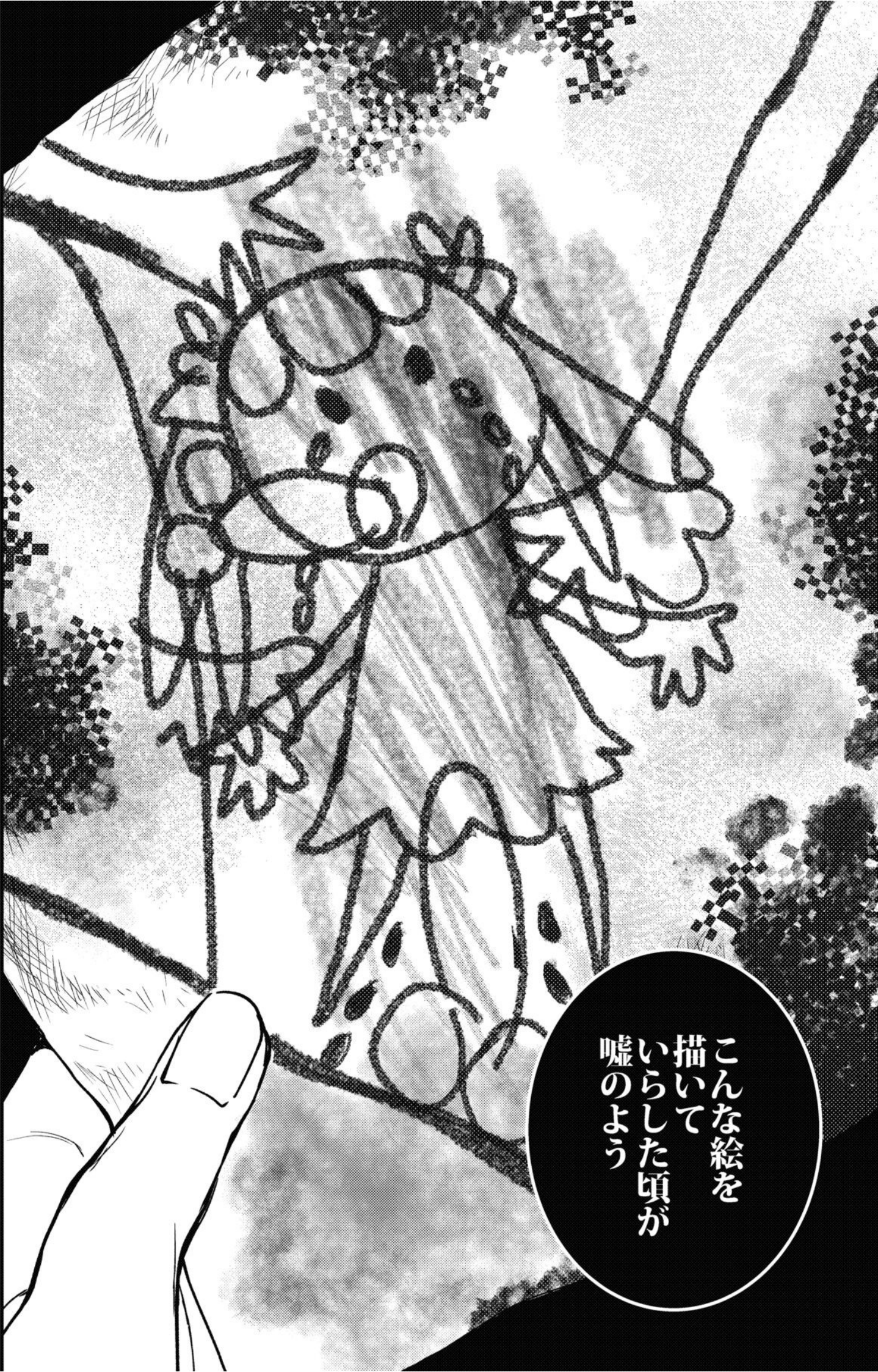
シェイリイ様は毎日の出来事を絵になさるのが好きだったのよね

大きくなられてからは絵を描く機会も減っていたけれど...

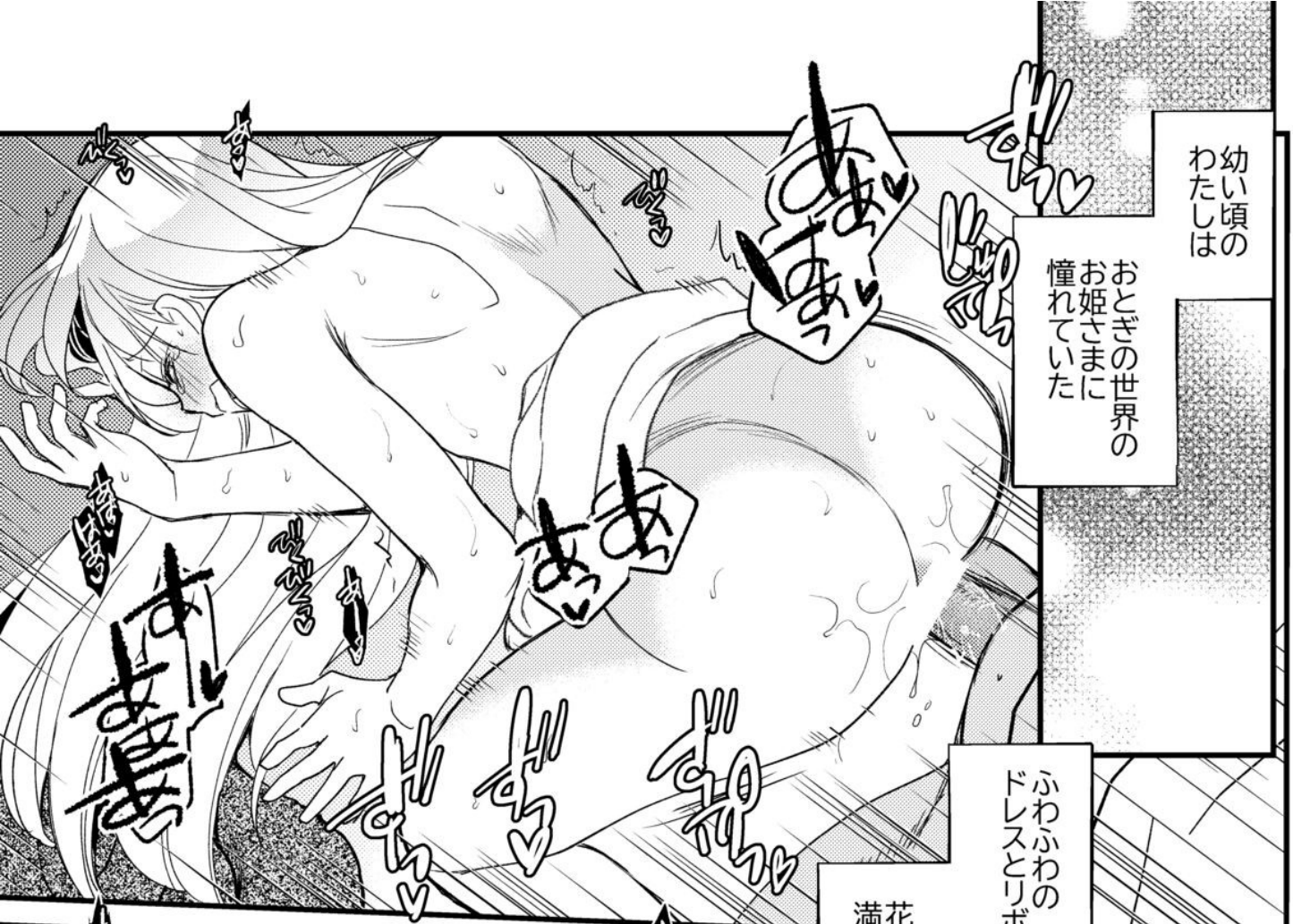


本当嬉しい事だわい

お目ざめになられたシェイリイ様はすっかりお気持ちたちが穏やかにいられていたし



こんな絵を
描いて
いらした頃が
嘘のよう



幼い頃の
わたしは

おとぎの世界の
お姫さまに
憧れていた

ふわふわの
ドレスとリボン

花の匂いに
満ちたお城



日々は
ちよつとだけ
退屈だけで
穏やかで

大切な
やさしい
ひとたちに
囲まれて



ず
ず
と
と

い
つ
ま
で
も



幸せに
暮らすのよ——



TO BE CONTINUED.

種が
芽吹いたの
ですよ
シェイリイ

いま貴女の
身体の中には

私と貴女の
愛の証が
芽吹いてる！

ほい


それって
つまり…

わたしと
スチュワートの
赤ちゃんが

トクン…



赤ん坊？



奴との
子供
なんか
じゃ
ねえ

あんたの
身体に
巣食っ
てるの
は



あんたは
連中の
苗床だ



ようやく
逃げ出せ
たのに

なんで
ハイダアサミを
やめて
戻ってきた

サエドコセイゾヨ

2

FANBOX



2022年11月発行

発行/床子屋鬼頭えん & HEIZO
<http://tokoya.txt-nifty.com/>
<https://twitter.com/kitoen2173>
<https://kitoen.fanbox.cc/>
印刷・コーシン出版さま

成人向け
未成年者の閲覧を禁止します。
いかなる理由であろうと
無断転載・無断掲載・無断複写・アップロードを厳禁します。
違反した場合
損害賠償請求をさせていただきます。

WARNING

The producer of this WORK(Book and Do-Jinshi)
has not permitted following,
・Reproduction of this WORK.
・Making of all of kinds of copies of this WORK.
・Resale of this WORK.
・This WORK is done in the scanning and up-road to the
Wired network
(The Wired network includes SNS・P2P and etc.).
The producer of this WORK prohibits sharing the WORK
by the Wired network and the resale.

電子書籍版 取り扱い委託ショップさま

BOOTH
<https://kitoen.booth.pm/>
FANZA
<https://www.dmm.co.jp/dc/doujin/-/list/=/article=maker/id=26646/>
DLsite
https://www.dlsite.com/maniia/circle/profile/=/maker_id/RG14710.html

紙の本 取り扱い委託ショップ様

コミックとらのあな
https://ec.toranoana.jp/tora_r/ec/cot/circle/3UPAd26P8U72dD60d687/all/
メロンブックス
https://www.melonbooks.co.jp/circle/index.php?circle_id=19745



床子屋
極楽将軍

鬼頭えん/HEIZO

[https://twitter.com/
kitoen2173](https://twitter.com/kitoen2173)

<https://kitoen.fanbox.cc/>

WARNING:

The producer of this WORK(Book and Do-Jinshi)
has not permitted following,
•Reproduction of this WORK.

•Making of all of kinds of copies of this WORK.
•Resale of this WORK.

•This WORK is done in the scanning and up-road to the
Wired network

(The Wired network includes SNS・P2P and etc.).

The producer of this WORK prohibits sharing the WORK
by the Wired network and the resale.

Purchase Made by HentaiOng.Com